



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月10日

上場会社名 互応化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4962 URL http://www.goo-chem.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤村 春輝
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 西川 憲一 TEL 0774-46-7777
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	5,590	1.5	597	8.0	731	13.0	456	△26.4
26年3月期第3四半期	5,508	2.0	553	0.6	647	0.1	620	△9.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 556百万円 (△26.5%) 26年3月期第3四半期 757百万円 (△13.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	68.83	—
26年3月期第3四半期	93.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	15,142	12,982	85.5
26年3月期	14,799	12,624	85.1

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 12,953百万円 26年3月期 12,598百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,490	1.7	750	△0.1	870	2.8	555	△31.5	83.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	6,992,000株	26年3月期	6,992,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	361,515株	26年3月期	361,515株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	6,630,485株	26年3月期3Q	6,630,485株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、緩やかな回復基調は維持しているものの、円安の影響による景況感にはばらつきがみられます。また、世界経済も緩やかな回復基調ながらロシアや中国を中心とした新興国及びユーロ圏では景気の下振れのリスクが残り、地政学的リスクも含め、世界経済が減速に向かう可能性には留意する必要があります。

このような状況のもと、当社グループでは、人を豊かにする、高機能高付加価値な製品を提供するために、引き続き積極的な研究開発と営業活動を行うとともに、社員一人ひとりが、やらされる仕事をこなすのではなく、「そもそも」を自然と考えるようになることを目指し、研究開発者を中心に考える場を設けるなど、組織風土の創生にも努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,590百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は597百万円（同8.0%増）、経常利益は731百万円（同13.0%増）、四半期純利益は456百万円（同26.4%減）の増収減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(反応系製品)

反応系製品の中で繊維業界につきましては、国内市場は円安により織物生産が海外から国内へ回帰し、細番手織物を中心に全般に好調な状況が続いています。一方、海外市場は中国や韓国で在庫調整局面に入っております。その中で当社グループは、海外の落ち込みを国内の拡販でカバーしました。また、原材料価格の上昇を受け、当第3四半期連結会計期間において販売価格の改定を行い採算の改善に努めました。

印刷関連業界につきましては、依然として出版・パッケージ関係が低迷しております。また、個人情報の管理強化や個人消費の落ち込み等でダイレクトメールハガキも低調な動きとなりました。その中で当社グループは、環境対策関連製品として水性圧着ニスや省エネルギーシステムに対応した高感度UVニスの開発と販売に注力しましたが低迷しました。

化粧品業界につきましては、シャンプー・コンディショナー分野は競争激化が続いておりますが、ヘアスタイリング剤分野は好調な状況が続いております。その中で当社グループは、シャンプー・コンディショナー添加剤用途の落ち込みを、ヘアスタイリング剤の拡販でカバーしました。また、新規分野としてスキンケアやメーキャップ用途の樹脂開発と新規ユーザーの開拓に注力しました。

その他工業用分野では、水溶性ポリエステル樹脂を包装用フィルムや光学用フィルム、繊維加工剤などの用途で国内外へ積極的な営業活動を行いました。しかし、光学用フィルム用途は海外で価格競争の影響を受け、包装用フィルム用途は海外で在庫調整の影響を受け低調に推移しました。メッキ関連及び転写樹脂関連につきましては、国内外ともに好調に推移しました。また、太陽電池関連におきましては新規顧客の獲得が進み、スクリーン印刷用高精細乳剤が好調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は4,555百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は903百万円（同4.2%増）となりました。

(混合系製品)

混合系製品につきましては、国内市場が、自動車関連やスマートフォン向け部品市場が好調に推移しております。一方、海外市場は、タッチパネル用途の工法が印刷法から写真法に移行し、より高精細化してきております。その中で当社グループは、海外で印刷用UVインクの売上高が減少しましたが、国内市場の好況による自動車関連やスマートフォン向けの売上高の増加のほか、アミューズメント関連におきましてモデルチェンジによる売上高の増加により、海外の落ち込みをカバーしました。

その結果、当セグメントの売上高は1,034百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は27百万円（同78.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は15,142百万円と前連結会計年度末に比べ、342百万円増加しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ286百万円増加し10,575百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が143百万円増加したことや、たな卸資産が139百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ56百万円増加し4,566百万円となりました。これは、無形固定資産が12百万円減少しましたが、投資その他の資産が69百万円増加したこと等によるものです。

流動負債は前連結会計年度末に比べ37百万円増加し1,659百万円となりました。これは、未払法人税等が205百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が187百万円増加したことや、その他に含まれる預り金が51百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ52百万円減少し500百万円となりました。これは、役員退職慰労引当金が50百万円減少したこと等によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ357百万円増加し12,982百万円となりました。これは、利益剰余金が257百万円増加したことやその他有価証券評価差額金が80百万円増加したこと等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から481百万円増加し2,485百万円となりました。

各キャッシュ・フローの概要は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は369百万円(前年同期比274.8%増)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益689百万円(同31.2%減)に対し、売上債権の増加額136百万円(同299.2%増)、たな卸資産の増加額135百万円(同29.2%増)及び役員退職慰労引当金の減少額50百万円(前年同期は増加額11百万円)、並びに法人税等の支払額404百万円(前年同期比26.9%減)があったものの、減価償却費228百万円(同41.5%増)及び仕入債務の増加額185百万円(同211.9%増)があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は291百万円(前年同期は減少額530百万円)となりました。これは主として、定期預金の預入による支出4,360百万円(前年同期比21.6%減)及び有形固定資産の取得による支出203百万円(同54.7%減)に対し、定期預金の払戻による収入4,860百万円(同0.0%増)があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は198百万円(同25.0%減)となりました。これは、配当金の支払額198百万円(同25.0%減)によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間につきましては、概ね予想の範囲内で推移しておりますので業績予想の見直しは行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,964,843	6,949,417
受取手形及び売掛金	1,882,847	2,026,234
商品及び製品	566,891	655,459
仕掛品	255,921	292,028
原材料及び貯蔵品	498,682	513,489
繰延税金資産	70,105	28,572
その他	51,129	111,727
貸倒引当金	△1,372	△1,294
流動資産合計	10,289,049	10,575,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,782,968	3,790,835
減価償却累計額	△2,979,288	△3,028,767
建物及び構築物 (純額)	803,679	762,068
機械装置及び運搬具	6,212,034	6,402,144
減価償却累計額	△5,609,920	△5,728,145
機械装置及び運搬具 (純額)	602,114	673,998
工具、器具及び備品	905,050	900,466
減価償却累計額	△844,991	△834,563
工具、器具及び備品 (純額)	60,059	65,903
土地	2,078,398	2,078,398
建設仮勘定	112,665	75,837
有形固定資産合計	3,656,915	3,656,205
無形固定資産	116,732	104,320
投資その他の資産		
投資有価証券	635,643	766,484
繰延税金資産	85,963	26,570
その他	24,624	23,050
貸倒引当金	△9,689	△10,094
投資その他の資産合計	736,543	806,011
固定資産合計	4,510,191	4,566,537
資産合計	14,799,240	15,142,173

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,012,233	1,200,082
未払金	199,465	230,661
未払費用	12,515	2,124
未払法人税等	210,504	5,279
賞与引当金	113,470	59,544
役員賞与引当金	30,500	22,875
その他	43,275	138,728
流動負債合計	1,621,964	1,659,295
固定負債		
役員退職慰労引当金	163,449	112,887
退職給付に係る負債	389,142	387,321
固定負債合計	552,592	500,209
負債合計	2,174,557	2,159,504
純資産の部		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	11,087,447	11,344,936
自己株式	△268,988	△268,988
株主資本合計	12,488,449	12,745,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99,462	180,107
為替換算調整勘定	10,569	27,597
その他の包括利益累計額合計	110,031	207,704
少数株主持分	26,203	29,026
純資産合計	12,624,683	12,982,669
負債純資産合計	14,799,240	15,142,173

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	5,508,283	5,590,358
売上原価	3,522,324	3,595,912
売上総利益	1,985,959	1,994,446
販売費及び一般管理費	1,432,611	1,396,833
営業利益	553,348	597,613
営業外収益		
受取利息	7,512	7,739
受取配当金	29,621	47,752
為替差益	31,124	37,288
貸倒引当金戻入額	699	—
受取ロイヤリティー	43,041	39,789
その他	14,058	9,566
営業外収益合計	126,057	142,135
営業外費用		
売上割引	6,196	5,687
支払手数料	25,240	—
支払補償費	—	2,345
その他	466	130
営業外費用合計	31,903	8,163
経常利益	647,501	731,585
特別利益		
投資有価証券売却益	362,413	—
固定資産売却益	249	1,693
特別利益合計	362,662	1,693
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	—	100
固定資産除却損	7,412	617
役員退職慰労金	—	43,099
特別損失合計	7,412	43,816
税金等調整前四半期純利益	1,002,751	689,462
法人税、住民税及び事業税	346,462	174,695
法人税等調整額	35,046	56,530
法人税等合計	381,509	231,225
少数株主損益調整前四半期純利益	621,242	458,236
少数株主利益	999	1,832
四半期純利益	620,243	456,403
少数株主利益	999	1,832
少数株主損益調整前四半期純利益	621,242	458,236
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89,731	80,644
為替換算調整勘定	46,506	18,018
その他の包括利益合計	136,237	98,663
四半期包括利益	757,479	556,900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	753,922	554,076
少数株主に係る四半期包括利益	3,557	2,823

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,002,751	689,462
減価償却費	161,569	228,670
のれん償却額	124	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,301	149
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△54,225	△53,925
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,625	△7,625
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,084	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△2,245
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11,026	△50,561
受取利息及び受取配当金	△37,133	△55,491
為替差損益 (△は益)	△12,834	△15,398
投資有価証券売却損益 (△は益)	△362,413	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△249	△1,693
有形固定資産除却損	7,412	617
売上債権の増減額 (△は増加)	△34,292	△136,911
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△104,602	△135,157
仕入債務の増減額 (△は減少)	59,593	185,889
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△37,608	74,684
未払金の増減額 (△は減少)	34,706	11,049
未払費用の増減額 (△は減少)	△11,050	△10,829
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△47,709	△41,785
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	58,259	35,185
その他	△10,636	3,970
小計	614,845	718,051
利息及び配当金の受取額	37,407	56,746
法人税等の支払額	△553,580	△404,936
営業活動によるキャッシュ・フロー	98,671	369,861
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△448,288	△203,048
有形固定資産の売却による収入	249	2,393
無形固定資産の取得による支出	△12,850	—
投資有価証券の取得による支出	△5,360	△5,616
投資有価証券の売却による収入	636,631	—
定期預金の預入による支出	△5,559,465	△4,360,409
定期預金の払戻による収入	4,858,686	4,860,469
貸付けによる支出	—	△1,674
貸付金の回収による収入	126	126
その他の支出	—	△585
投資活動によるキャッシュ・フロー	△530,270	291,656
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△265,064	△198,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	△265,064	△198,753
現金及び現金同等物に係る換算差額	27,461	18,267
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△669,201	481,031
現金及び現金同等物の期首残高	2,331,488	2,004,373
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,662,286	2,485,405

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,483,940	1,024,343	5,508,283	—	5,508,283
セグメント間の内部売上高又は振替高	191,934	—	191,934	△191,934	—
計	4,675,874	1,024,343	5,700,218	△191,934	5,508,283
セグメント利益	867,846	15,487	883,333	△329,985	553,348

(注) 1. セグメント利益の調整額△329,985千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,555,995	1,034,363	5,590,358	—	5,590,358
セグメント間の内部売上高又は振替高	175,102	—	175,102	△175,102	—
計	4,731,098	1,034,363	5,765,461	△175,102	5,590,358
セグメント利益	903,968	27,570	931,539	△333,926	597,613

(注) 1. セグメント利益の調整額△333,926千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。